

キッズ ふくしま インたがだ

第14号

2022年5月1日

(発行)

キッズふくしまインたがだ実行委員会
(事務局)

〒943-0892

新潟県上越市寺町2-24-4

真宗大谷派高田教務所内

TEL:025-524-3913/FAX:025-524-2645

URL:<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

実行委員あいさつ

高田教区 第七組 専念寺 堀河 如信

今回も無事にキッズふくしまを終えることができました。現地で関わって下さった方々や、新型コロナウイルスが蔓延している中、大事なお子さんを送り出してくだ

さった親御様方、参加者の子ども達、楽しい時間をくださり本当にありがとうございました。私は二〇一四年に行われたキッズふくしまからお手伝いをさせてもらい、八年が経ちました。毎度のことですが、日程中の子ども達は本当に元気が良く、朝から晩まで動き回っています。自分の小学生当

※ 撮影のため一時的にマスクを外しています

池の平青少年センターでの集合写真

時を思い出すと、親元から離れ、学校ではない友達と過ごす数日間のキャンプはとても刺激があり、記憶に残るものでした。このキッズふくしまも、参

加者にそう思ってもらえるものであります。

今回も前回に引き続き、数年前は参加者であった子がスタッフ側として来てくれました。いきなり敬語を使われると少し寂しい気もしましたが、一段と成長した姿に心強さを感じました。また、キッズふくしまを卒業しても繋がっていられることを本当に嬉しく思いました。

およそ半年振りに会う参加者の子ども達も、出会い頭に「ゆっきー来たよー！」そう言ってくれる瞬間が本当に好きです。「続けてきて良かったな、またこの瞬間があるといいな」と、私はその一言をもらう為だけにでも、キッズふくしまを続けたいと思わせてくれます。

震災が起ってから外で遊ばせていない、今はコロナ禍で友達と遊ぶ機会も減った、そんな親御さんからのメッセージを受け、この池の平という自然たつぷりの土地で、今私たちが何ができるのか、今後とも考えていかなければならないなど感じています。



キッズふくしま

スプリングキャンプ 2022

2022年 3月27日～3月31日



※参加者全員 PCR 検査を実施し陰性を確認しました

1 日 目 (3月27日)

東日本大震災から十一年が経過しました。今回参加してくれた子どもたちは、そのほとんどが震災後に生まれた子どもたちです。外で遊ぶことができないことが当たり前で、友達と外で遊ぶことを制限されることに違和感なく生活をしてきた子どもたち。池の平に到着してすぐにスタッフから「雪で遊んできて



いわき市を出発して昼食をはさみ、午後池の平に到着した子ども達 疲れも見せず、開会式の後はさっそく雪と戯れました

「いいよ」と声をかけられると、「えっ、いいの？」の返答。その言葉がとても重く感じられました。今回もいわき市から十六名の子どもたちが元気に新潟まで来てくれました。また、以前参加してくれたキッズふくしまのOB二人も、今は中学生になってスタッフとして参加して下さいました。



新しいお友達やお姉さんたちとも仲良くなりました

2日目(3月28日)



3班に分かれて雪像を制作。まずは外に出る前にみんなで構想を練りました。



二日目は池の平青少年センターの雪を満喫する一日となりました。まだまだ1メートルを超す雪原で、そり遊びや雪像・雪洞づくりを協力して行いました。班別活動で、より一層絆が深まりました。



半日でこんな立派な雪像が完成
どの班も個性あふれるものばかりです。



夜は翌日の事前学習
NHKで放映されたブラタモリ
(糸魚川編)をみんなで視聴



午後は雪上ドッジボール大会。
十分に体を動かした後は室内で遊びました



これまでの「キッズふくしまインたかだ」の取り組み、今後の予定などを、たくさんの写真と共に随時アップしています。ぜひアクセスしてみてください。

なお、この広報誌はホームページにPDFデータでアップされていますので、印刷してご利用ください。

ネットで公開しています

ホームページ

<https://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

Facebook

<https://www.facebook.com/kidsfukushima/>

Twitter

<https://www.twitter.com/kidsfukushima/>

3日目(3月29日)



糸魚川を探訪



日本でも珍しいトンネルの中にある駅「筒石駅」。280段の階段を下り地下40mのホームで列車に手を振りました

3日目はセンターを離れ、マイクロバスで糸魚川市を訪問しました。「世界ジオパーク」に指定されている糸魚川市の博物館などを見学しました。また、まだまだ記憶に新しい糸魚川大火の現場も訪れ、その規模の大きさを目の当たりにしてきました。初めての試みでしたが、楽しい一日となりました。



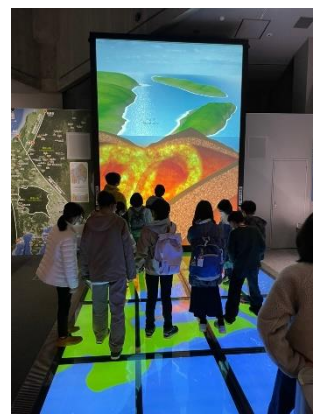
道の駅「マリンドリーム能生」の公園

糸魚川大火の被災地を、市内を一望できる「日本海展望台」から見学し当時の様子を説明してもらう



糸魚川駅前物産館でお買い物

フォッサマグナミュージアムを見学。前日の事前学習でも登場した根知地区「フォッサマグナパーク」へも足を運び、糸静線を目の当たりにしました





糸魚川から戻った夜はオリジナル万華鏡づくりを体験。
みんな真剣に取り組んで良いお土産ができました。

4日目(3月30日)



午前中は室内で過ごしスタッフ
による寸劇が披露されました



お朝事で正信偈を読む



午後は再び雪遊び。手作りアイ
スクリームも美味しかったよ。



雪入りペットボトルを投げると
アイスができる



夜はレクリエーションを
行いました



スタッフも総出で人文字を完成



スリッパ運びレース



子ども達による寸劇の披露
短い時間で良く練習しました

子ども達の感想

5日目(3月31日)

キッズふくしまで 楽しかったこと

坂本 明日花さん

人で転がすのが楽しかったです。家でも作ってみようと思いました。雪あそびでペンギンだるまや、りあそびが楽しかったです。ペンギンだるまを作るのはたいへんだったけど、みんなといっしょにつくれて楽しかったです。また、キッズふくしまに夏休み参加したいです。



全員元気にふるさと「いわき市」へ戻りました

私は、夏休みにつづいて、二回目の参加でした。春休みは初めてだったので、新潟に着いて雪の多さにビックリしました。

私がキッズふくしまで楽しかったことはアイス作りが楽しかったです。同じ年の四人で、グループで作りました。ビニールぶくろに雪を入れて、バニラが入った。ペットボトルを四

キッズふくしまに参加して

野木 樹旺虎さん

ぼくは、キッズふくしまに参加したのは二回目です。一度目はサマーキャンプにさんかして、バーベキュー、海水浴や消しゴムハンコ作りを体験しました。

夏にとってもよい経験をして楽しかったです。そして今回スプリングキャンプに参加させて

いただきました。いわき市ではなかなかできない雪遊び、ソリ遊びやかまくら作りを体験しました。今回もぼく自身、とてもきちょうな経験ができ、四泊五日のキャンプでしたが、あっというまでした。友だちもたくさんできました。とても楽しかったです。

また次のキッズふくしまに参加してたくさん経験ができるのが、今から楽しみです。スタッフのみなさんありがとうございます。



会計報告

この活動に対し様々な方に御支援を頂きましたことを、ここにご報告させていただきます。

- ・参加保護者様
- ・善念寺様
- ・全日本仏教会様
- ・宮越彰様
- ・圓照寺様
- ・専敬寺様
- ・第四組お待ち受け法要
- ・高田別院お待ち受け法要

※順不同

通帳残高 1,637,340円

2022年4月16日現在

この募金はキッズふくしま実行委員会が管理をして、必要があれば実行委員会の決済を経て、キッズふくしま関連事業への補助を行います。今後も高田、新井両別院報恩講や各種行事において募金活動を行う予定です。引き続きご理解、ご協力の程宜しく申し上げます。

中学生OBスタッフからのメッセージ

久々のキャンプに参加して

澤田 茉依さん

今回、スタッフとしてキャンプの参加オフアーが来て、私は心からうれしく思いました。コロナの影響で最後のキャンプ（※2020年春）が行けなくなってしまう、非常に寂しかったからです。小学生の頃に参加していた時とはまた違った視点でキャンプに行くことができ、キャンプの楽しさをまた思い出してしまいました。参加してくれた子どもたちと触れ合うということで、今回かなり緊張していません。けれど、初日から楽しそうに雪遊びをする子どもたちを見て小学校の頃を懐かしく思いました。それに子どもたちの元気さには毎度驚くばかりでした。昨日あれだけ走りまわっていたのに、今日もこれだけ元気なのかと感心しました。年齢だっただけの数年しか変わらないというのに。ただの参加者としてではなく、子どもたちと一緒に遊んで、一日の大半を共にして、中学生スタッフとしてスタッフの仕事の僅かながらに手伝って。今まで知らなかった所も分かりました。今回も、これまで参加してきたときも、キャンプでは勉強になることばかりです。実際、私の偏食も治っていくきっかけになりました。人見知りだった、以前よりもましになったんです。池の平青少年センターは、

私のもう一つの学び舎になりました。スタッフの皆さんにも、今回参加した子どもたちにも、中学生になった私をもう一度参加者の一人として、スタッフとして受け入れてくれたことを心から感謝しています。本当にありがとうございます。

初めてのスタッフ

鈴木 娃娃さん

今回、初めてスタッフとして参加させて頂き、私が改めて感じたことは、子供の笑顔が好きだということです。

小学生の頃から小さい子が好きで、よく面倒を見ていましたが、中学生になって、あまり小さい子とふれる機会がありませんでした。なので今回スタッフとして参加させて頂く話を聞いたとき、「これだ！」と思いつきました。五日間、毎日たくさん遊びをしていたのに、なぜかあんまり疲れないので、なぜだろうと過ごしていたら、ふとした時にみんなの笑顔を見て、幸せだなあ、癒しだなあと思ひ、なぞが解けて嬉しかったとともに、これからも守っていきたく感じました。

次の夏、私は受験期です。みんなに会える確率は低いですが、記憶の中のみんなの笑顔を思い出して頑張りたいです。

キッズふくしまにお力添えいただきありがとうございます

「キッズふくしま」とは福島第一原発事故を機に始まった、福島県の子どものための保養活動です。現地の声には、「個人宅の放射能除染が行き渡っていない」、「遊び場である公園に連れて行ったり、遊ばせたりする事が不安」などという声が聞かれます。また子どもたちからも「普段遊んでいた空き地は数値高いから遊べない」、「山に入っちゃいけないって言われた」等、大人は不安からのストレスに、子どもたちは遊び場を失うストレスに悩まされる日々が今だに続いています。

「キッズふくしま」は、大人たちが便利という言葉にごまかされて思考を止め、本当の安全を追及して来なかった事や、原発事故、放射能汚染等の負のバトンを子どもたちに渡さなければならない事に対する「ごめんなさいから始める」活動です。子供たちが感じているストレスの軽減と、受けている内部被ばくの減少を目的として、たとえ数日間という短い期間でも汚染されていない地域で過ごし、思い切り遊んでもらいたいと思っています。ご理解の程宜しくお願い致します。

皆様からのご寄附をお願いします

- 郵便局からの振込 -

口座記号番号（ゆうちょ銀行）

00500-1-101787

口座名 キッズふくしま たかだ

- 他金融機関からの振込 -

店番 059（ゆうちょ銀行）

口座名 キッズふくしま たかだ

預金種目 当座

口座番号 0101787



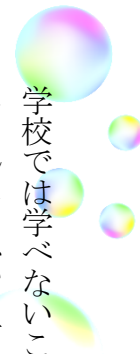
いわき市 小野 敦様

この度は『キッズふくしま』に参加させて頂きましてありがとうございます。ごさいます。

娘は、今回で三度目の参加となります。初めて参加したのは小学校三年生の時でした。当時私は活動の内容を理解はしていたものの、家族と離れて外泊することに對してただただ心配していたことを思い出します。私自身が単身赴任をしていて普段一緒にいられたかったこともあったかもしれませんが、日々更新される画像をチェックしておりました。画像の中ではとても楽しそうにしている娘の

姿を見ることができました。また、スタッフの方々が多忙の中、個別で連絡対応して頂いたり、時には病院に連れて行って頂いたこともありました。そんなスタッフの皆様のような心配りのおかげで安心してお任せ出来たと思います。帰宅してから娘との電話では、とても楽しかったことをたくさん話してもらい、こちらでも幸せな気持ちにさせて頂き、震災当時0歳だった娘の成長を感じることが出来ました。

震災から十一年という年月が経ちましたが、放射能で汚染された土壌が入った黒い袋はいまだに積み上がり注意を促す線量の高い場所は依然として生活の中にありそれが日常になっています。そんな中『キッズふくしま』では、昨今のコロナ禍の影響も含め、家族だけでは体験させてあげられないことを様々に体験させて頂けました。これにより子供の視野が広がり、様々なスタッフとの関わりで



Saki I

学校では学べないことを感じられたと思いますし、他校や別学年の友達が出来たことも娘にとっては貴重な経験となったと感じております。

コロナで中止になっていた活動も今回再開して頂き、五年生として三度目の参加となりました。ただただ楽しみで、たくさん楽しんだことが思い出話で伝わりました。今春六年生になった娘は、次の参加を今から楽しみにしております。

スタッフの皆様、娘の成長に携わって頂きまして、本当に感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。

スタッフ募集! ※ コロナ禍の為、参加は一定の条件を満たした方に限ります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

実行委員会では随時スタッフを募集しています。

～池の平会場において～

- ① 全日程通じての参加
- ② 短時間での参加
- ③ 食事の準備、片付け
- ④ 子どもたちと遊びたい人
- ⑤ 現地への送迎

お願いします!

